



筆山

第6号/1988・7

土佐中・高同窓会 関東支部会報

〒112 東京都文京区水道1-10-7 同学社気付 ☎03-816-7011 編集人 / 小松勢津子(35回)

年新年会レポート

▼「よっしゃ、かあちゃんに土佐蒲鉾の土産ができたちや」



▼ビンゴゲーム。ミスターNHK尾崎さん(28回)の名司会なしでは始まんちや。



’88 土佐中・高関東支部新年総会が1月30日(土)、半蔵門の東條会館で開かれまして。約300人のいごっそう、はちきんが集まり、こぢんち盛況でした。
前半は、5回生の平井康二郎先生が音楽感溢れるお話を軽妙なタッチで展開され、満場の喝采を浴びられました。



◀ おめでとう、辰年生まれの皆さん。龍馬のように馬力で勝負。



▲「次の景品はどれやったろうか？」裏方もなかなか大変やね。

▲「まだ3つしかあいちゃあせん」「わしも、ちっともあかんちや」

ユキ & ユリ の'88 土佐

かつての白線ボーイも、かわいらしい後輩との記念写真に、鼻の下がのびちゅうちや。▼

「おんしゃ生きちよったかよ」「おまん子供できたかえ」新パパ世代の会話。▼



若さが光ってるね。“ヤングいごっそう&はき〜んず”▶



「役得、役得。幹事やき美女に囲まれちうがぜえ、羨ましいろ」▲



そ して後半は待ちに待った大懇親会。久しぶりに先輩、同期、後輩が集まり、「なつかしいのう。おんしゃあまあ一杯やりや」「あんた今どうしゆうがぜえ」などと、ビンゴゲームを皮切りに盛り上がった宴を、55回コンビのY&Yがレポートしました。



『土佐高新人類の研究』が書けるやないろうか。京都から来られた大宅賞の野田正彰さん(37回)と。▲

※レポーターは、55回大原由紀と金沢由里でした。また、次回お会いしましょうネ。



東大投手として17勝の記録を保持

コンクリート工
学の権威として 本四架橋にも関与

東大工学部教授 岡村 甫氏 (32回)

INTERVIEW

⑤

現在の「研究は？」

「土木工学という、社会基盤の整備をする学問です。その中でも専門はコンクリート工学という分野で、コンクリート構造物を設計する体系を作りあげて普及させるのを中心に過去二十年やってきて、それがようやく実りつつあるという状況です」

本四架橋との関係は？

「本四架橋のメインの構造物は吊り橋で、これはスチールでできていて、コンクリートとはあまり関係がありません。ところが、タワーの海中にある基礎は巨大なコンクリート構造物で、大きいのは数十メートル真つ角なんです。また短い橋はコンクリート橋が多いですから、それらの設計には関与してきました」

東大の投手として十七

勝の記録をお持ちですが、土佐時代から投手は？

「いえ、土佐時代は一年から三年の春の大会まで二塁の補欠だったのです(笑)。しかし、クラスマッチなんかでは投手をして、必ず勝つてたんです。で、三年の春の大会の後のレギュラーと補欠の

紅白試合で、補欠チームの投手としてレギュラーを抑えられたのがきっかけで、投手になりました。以後六十イニングぐらい無失点だったのですが、エースは上田投手でした。ところが、夏の大会の時に彼がけがをして、私が全試合投げ、無失点で優勝したのです。それでも背番号10というのは変わらなかつたですね(笑)」

高校ではエースですか。

「いえ、高校では、初め野球をやりました。高一の頃は身長一六〇センチ弱に体重五〇キロくらいなくて、満洲監督の練習についていけない自信がなかつたのです。そしたら、高三になって身長一六八センチに体重五八キロくらいになり、監督や大嶋校長の熱心なお勧めもあって、春からまたやりはじめたのです」

ほぼ二年間のブランクですが。

「ええ。以後、何試合か投げたのですが、一試合一点ぐらいしかとられませんでした」
「頭で投げになるが、よくわからないのです、なんとなく相手が打たないんです。相手が球を予測して

打ってくるタイプだと、完全に逆をつけるんです。言い換えると、いい打者はほとんど打たれない」

甲子園の予選は？

「県予選の準決勝で高知商業に敗れました。私自身は無失点だったのですが、全試合、ただ、一人で投げるには体力がなかつたんですね。これに勝てば甲子園は保証すると監督がおっしゃった高知商業戦に負けて、突然目標がなくなつてしまい、それで、甲子園に出場し、一浪して大学へ、という計画を、現役で大学へに切りかえたのです」

東大でエースになられたのは？

「二年の春のリーグ戦の六試合目にリリーフで初勝利をあげ、そのシーズンに三勝してからです」

十七勝されていますね。

「ええ、結局、われわれは常に強い相手と試合しなければならぬから、勝つチャンスがある時に勝ち切ることが大事なんです。勝つチャンスがある時に勝ち切れたのは、中学では一度も負けていないということがどこかにインプットされていたんじゃないか

と思います。それから、常にある自分のビッチングに不満があるので、打たれる前に早目早目に新しいものを加えていったのがよかったんですね」

前後二回、東大の監督をされていますが。

「最初は博士過程の一二年の時だったのですが、この時は非常に未熟で、チームの力をうまく引き出せなかつたので、その後十年ほどおいて、また二年間やりましたが、今度は選手の力をフルに発揮させることができたと思います。二年目には七勝あげることができました。後輩では、主将を務めた浜田君(58回)に続いて、今年、藤沢君(61回)が入学しました。頑張ってもらいたいですね」

土佐高の理事会の顧問でいらつしゃいますが、母校へのご注文は？

「私は教育というのはそれにかかわる人の資質や向上心ややる気があっていく、それをいかに高めていくかがいちばん大事だと思うんです。私どもの東大土木工学科はそれに非常に留意した教育をしています。土佐高の教員もぜひそうあってほしいですね」

高知からの 報 告

いま母校は 攻めの姿勢で前進を

高知新聞編集局社会部副部長

39回 宮内 蔵

「土佐高どうした!?」ここ数年、そんな声がしきりに聞こえてくる。学芸に負けた、いや、学芸も土佐もだめ、県外だ、愛光(愛媛)だ、の大合唱。関東支部でも少なからず論議を呼んでいると聞くと、さて土佐高は本当にどうかしたのか、高知からの報告を。「どうした」の声はまず進学数。昔のように一流大へぶつちぎりで進学しているようにないぞ、という指摘だ。その象徴の東大合格者が一昨年、土佐9、学芸10と初めて逆転した。昨年は土佐11、学芸9追手前1、今年は土佐7、学芸3、追手前2とトップは取り戻したが「往年の土佐高はこんなものじゃなかった」の聲が上がる。

もちろん東大だけが物差し

ではない。今年の合格者を新開発表で数えてみたら、京大3、阪大9、慶応18、早稲田43、高知大27、高知医大13という具合。さて、これがどうなのか、所詮、数での判断はできぬ相談だが、国公立大合格者数はこのところずっと学芸に水を開けられていた。最近を追手前もあなどれない。かつてのように、王座を独走とはいかぬ、相対的地位が落ちていくことは否めない。そういう印象に輪をかけているのが、これこそ土佐高の看板である「文武両道」の「武」の低迷だろう。スポーツ、文化活動などの成果が聞えてこない。勉強もする、遊びもするといった校風が薄らいでいつているのでは、という不安を募らせる向きが少

なくない。

と言つて、これは無論学校の外側からの見方で、母校としては「そんなことはない。進学もその他も十分成果を挙げている。俺達の時代は……と言われても……」というところだろう。しかし、事実はそうである。今の土佐高を世間はおおむねそういう風に「これは「土佐高が頑張らねば高知の教育はない」との期待と励ましをこめて一見しているの

である。さらに世間の目はもっとシビアだ。いわく教師の質、能力が落ちた、学校経営が消極的、社会性がない、等々。まあ、こうなると全く外野席の気楽な言い放題ということにもなるか。ただ、今土佐高が世間の指摘の通り低迷しているとするれば、その最も大きな原因は取り巻く情勢、外因にあるのではと、私は考えている。

高知の教育は今猛烈な塾主導で動いている。小学4年生ごろから塾通いが始まり、少し出来の良い子供たちのほとんどが有名私立進学を人生のすべての目的であるかのような勢いで勉強する。親は輪をかけて熱中する。その挙句めでたく目標中学に合格しても疲れ果て、また、人生の目標を達成したような気分、そこが実は出発点であることを忘れてしまう。そんなことが少しも珍しいことではなくなっている。

一方、受験生親子に占める塾の存在は考える以上に大きい。塾の言うことがすべて、とほとんどの親子が考える。塾が土佐と言えば土佐、学芸と言えば学芸……という具合。土佐も学芸もだめ、県外だ、という論も多分にこの塾主導によつて増幅されたといつてよいだろう。土佐が落ちたと思風をさらに活かして前進するために、母校には攻めの姿勢を求めたい。

冠する「土佐」の名にかなえ、そんな願いを込めて同窓諸兄の母校へのバックアップをお願いしつつ高知からの報告を閉じさせて頂く。

記集 手特

新年総会に初めて出席して

卒業後数年、いや十数年……初めてでかけた新年総会。八人にその感想を綴っていたいただきました。一部看板に偽りがあつてゴメンナサイ。

一八回

武市 権夫



ル・チャベツ
クが「絵や写真

ろしくも懐しい多くの先輩の
晋咳に接した。土佐中はまこ
とに偉大な個性が割拠して、
実にいい所だったなあ、と少
年に返った私は胸が震えた。
三五回Hホーム

伊野部彦慈



同窓会に出席
したのは、数え
てみると二十八

で幼い頃からなじんでいる外
国の古跡に現地で目の当り接
した時の驚きは肝が潰れる程
である」と述べている。諸先
輩を古跡呼びわりする積りは
ないが、土佐中・高新年総会
で畠中達夫さんにお目にかか
った折は、これが現実の事か
と思わず目に唾を塗つた。樋
口先生方からの秀才振りを
幼い頭に叩き込まれたと神格し、
私と同じ地表を歩く人と思つ
ていなかったからだ。宇田邸
の前を颯爽と登校する伴衛さ
んにも会った。いや、次から
次へと卒業以来初めての、恐

年振りだった。無沙汰の非礼
を恥じながら恩師、先輩、友
人の前にあたかも出席する
という心持ちだった。

最初は眩しかった旧友の笑
顔も、お国ことばで話始める
と、すぐに昔の面影となにた
がわず重なつた。深夜帰途の
車の中、この日会ったひとり
ひとりを、いささか酔眼のそ
の裏でもう一度なぞってみる

と、筆山の麓で過ごした多感
で若かった日々のひとこまひ
とこまが、まさに夢、幻の如
くであった。
日常の巷塵の濁悪をひとと
き離れて、遥かな青春に廻飛
する……。これが私の初めて
の同窓会であった。

し、普段は会うことのない同
級生等に会い、なつかしく思
うと同時に、段々稀薄になつ
てきた土佐高という意識が蘇
るのをうれしく思いました。
ここ数年行っていない為、
冬になると思わず口ずさんで
しまう「スキー」の曲が、実
は大先輩である平井先生の手
によるものであったとは、全
く知りませんでした。

福富 廉



昨夏、久々に
高知へ行き、十
数年ぶりに見た

「よさこい祭り」はあまりに
も変わつており、大変驚きま
した。このように、今は実家
が高知にない私にとって、同
窓会を始めとして、高校関係
の行事に参加することは、ほ
んどありませんでした。
今回、初めてこの会に出席

一番にリーチしなが、最
後まで上がれなかったビンゴ
ゲーム、次は当てて「向陽の
空」を歌いたく思います。
五二回Tホーム

中内 真奈



夫婦そろつて
(夫は同じ52回
Tホームの中内

年々も職業も様々な人々の
集まりなのに、同窓生という
だけで何だか親しみが湧き、
初対面のおじ様達とも気軽に
言葉が交わされるなんて、同窓
会って不思議な所ですね。来
年も参加できるといいな……。

五五回Oホーム

赤崎 達志

期待と不安が入り交じつ
た複雑な気持ちで会場まで足

いう私たち、子供を母に預け
久々の外出とあつて、ルンル
ン出かけた新年総会。

会場に着くなり耳に飛び込
んできたのは、懐しい土佐弁
！。家庭のなかでは土佐弁を
使っているとはいへ、外で、
それも東京で耳にするのはま
たいいですね。卒業以来初め
ての総会出席でしたが、これ
だけでも、今日は来て良か
ったと思いました。

また、何年ぶりに会う同
期生や後輩たちを見て、改め
て自分の歳を感じてしまつた
総会でもありました。



を運んだのです
が、受付で働い
ている二人の同

級生を見たたんうれしくな
ってしまいました。それもそ
つてしまいましたが、それ

のはずで、五五回生の学年幹
事は知人ぞ知る美人コンビ
なのであります。幹事の仕事
が忙しかったためにほんの僅

かな時間しか相手していただ
けませんでした、美しくな

った同級生にお酌してもらえ
てとても光栄でした。さらに
帰り際には、彼女がピンゴで

当てたボカリスウェットまで
いたいて、竜宮城へ行った

浦島太郎のような幸せな気分
で家路につきました。これを
読んでいる五五回生の方々

および先輩、後輩の皆様、来年
は是非新年総会に参加して、

彼女たちにお酌してもらいま
しょう。とてもナイスな気

分になりますよ。

五九回Kホーム

平山 英樹

誠に恐縮なのですが、私は

大学三年の末になって初めて、
土佐高OB会東京支部なるも
のが発足していることを知り

ました。期待と一抹の不安の
交錯する中、私は半蔵門の東
條会館まで足を運んだのです。



同級生や後輩、
松浦校長の姿を
見かけたとなん

出が込み上げてきました。ま
た、諸先輩方の興味深いお話

は、自分の将来の為に非常に
参考になりました。その他、
食事をとりながらの楽しいゲ

ーム等、内容の濃いものであ
りました。

「参加すること意義があ
る」とよくいいますが、その
参加することを得ることは非

常に多大であると私は思いま
す。これからは是非、OB会

には参加させていただきたい
と思います。

六一回Tホーム

本越 和代

同窓会の一週間位前に61回



生の幹事である
友達から同窓会
の受付を手伝っ

てほしいと頼まれ、私は軽い
気持ちで引き受けた。

実際受付の手伝いといつて
も、私達ほとんど役に立た
なかったような気がするが、

裏方で働いている人々の苦勞
を少しは感じることができ
て、良かったのではないかと

思う。

同窓会では同年代の人ばか
りでなく、とても幅広くいろ
いろな人と知り合うことがで

きる。私は去年の同窓会にも
参加したが、その時に親しく
お話をさせて頂いた方々が一

年ぶりだというのに覚えてい
て、私達の近況など気づかつ

て下さったりしてとてもうれ
しかった。

それまでは同じ高校を卒業
したというだけでほとんど無
関係だった人達と、同窓会に
よってこのようなつながりが
でき、思い出に残る一日だっ

六一回Oホーム

永野 美華



友人のお父さ
んと同級生の方
とか、まだ高校

を卒業したばかりの方とか、
いろんな年代の方々がいらっ
しゃって、その方々と自分が

同じ高校を卒業したというこ
とは、なんだか不思議な気が
しました。そして、土佐高校

は伝統のある学校なんだなど、
改めて実感しました。高校を
卒業して、みんながばらばら

になっても、全体としての同
窓会があるというのは、同窓
生としての一体感を感じるこ
とができるし、とてもすばら

しいことだと思えますし、こ
れからもずっと続いて欲しい
と思います。同窓会に出席し

て、おいしい料理が食べられ
たし、ピンゴで十二支の置き
物がもらえたり、とても楽し
かったです。来年は東京へ高
知間の往復航空券めざして頑
張ろうと思います。



みんな元気でやりゆうかえ…
たまには寄っていきや

……ふるさとの銀行

高知相互銀行

東京支店 中央区八重洲2-6-21 (電) 03-273-3061

高校で学んだことに助けられ

文学関係の本を編集集中



筑摩書房編集部

岩川 哲司 (四四回)

夏の終わりの午後だった。

漢文の授業が半ばをすぎたころ、ノットに漫画を描いていた生徒がいて。隣がよぎったのを感じてその男がふと顔を上げると、すぐ背中に先生が立っておられた。先生は、いつもの穏やかな様子で「ここは少しおかしいぞ。こうしたほうがいい」と、画の不自然な線を静かに指で示された。

教室の気配の変化に、居眠り常習犯だった二、三人の生徒が目覚めた。当の生徒は、ごくわずかな時間のうちに経験したにちがいない絶望的な驚きと安堵との揺れの大きさに、さすがに声もややかすれ気味であったが「あ、ありがとございます」と、率直にお礼を述べて、照れくさそうにペコリと頭を下げた。やや離れた机に座っていた私には、

この「筆山」の思い出の中の先生方」の欄で、かつてあんなに豊かな個性をもって教壇に立たれた先生方のポルトレを読まれた方は、哀傷の感を抱いてご冥福を祈られると同時に、生命の息吹が熱く

波打つのを、あらためてお感じにはならなかっただろうか。授業中にはご自身の真剣さゆえに厳しい表情をされることも多かったカ、マスこと吉本先生、紳士的な優しさのうちに威厳を備えた廣田先生、錫のきいたお声で朗々と語られた片岡先生にしても、正面を発しと見据えるかのように、迫力ある表情で授業をされていた記憶があるが、いまあざやかに浮かんでくるのは、三人の先生方のこの上なく晴れやかな笑顔ばかりなのだ。時問が余分なものを取り去って、ほんとうの相を開示したのであろか。土佐高を愛し、生徒たちを深く信頼し、そこに真実の生を生きとられた先生方であったからこそ、時折しこばれる笑顔があんなにも晴朗だったことに思い至る。時を隔ててなお輝きを失わな

いなければならないと思う。

今、こんなことをしています

④

風の便りにますますお若い高松高校のご出身でマラルメがご専門である。この本は、

現代フランス屈指の知識人M・パンゲ氏が、日本文学に描かれた「自死」、を、古事記から三島に至る文学テクストによって跡づける大著だが、雄渾華麗な仏語を、竹内先生は、躍動感あふれる見事な日本語に再創造して下さった。ある批評家は「翻訳史上最高の名訳」と断言している。同じ著者によるエッセー集『テクストとしての日本』を編集しているさ中、昨年一月に、突然最愛の妻が幼い子二人を残して逝った。絶え間なく襲ってくる胸を抉られるような悲しみを救ってくれたのは、一つには慰藉にみちたパングエの文章だった。透明なテクストの至るところにちりばめられている優しくも熱い友愛——それは、どこからともなくやってきてはどこへともなく消えてゆく存在に、人生がその耐え難い日々をわびるかのよう

思い出の先生がた③

中山駿馬 先生

(昭和42年
逝去)

父とオンカンと

中山先生次女・三〇回

山岸 雅恵

十畳ほどの洋間の書斎に通された客は、棚やガラスケースに並んだ貝殻を、いやでも目にするようになった。

そこで平然として用件に入

れば良いのだが、ついうっかり興味を示そうものなら、父の貝攻めに合うことになる。

頭の上から足許から、貝の詰まった標本箱が次々に繰り

出される。

まだある。

まだある。

もう沢山だ。助けてくれエ。

その夜はカタツムリに襲われる夢をみて、うなされたことであろう。

父はほとんどこの書斎にもついていた。家族にとつてそこはわが家の聖域であり、父が居ない時でも立ち入るのを憚っていた。

子供たちから見た父親は常に害虫を噛みつぶした顔をしており、黒縁眼鏡の奥から大きな目玉でにらみつけられると、それだけで震え上がるくらい怖かった。直接声をかけられる場合は、叱られるか用を言いつけられるかだったの

で、父の在宅中は声をひそめ、足音をしのばせて隠れるようにしていたものだ。

このように父が私達を寄せ

つけなかったから、どの子ども父の跡を継ごうとしなかったのは当然だろう。彼の遺した標本は、今や場所ふさぎのやつかいものとなつてしまった。私は土佐中の生徒になつたとき、「オンカン」というもう一人の父に出会った。

彼は三本の指で大学ノートと降る昼さがり、とある土塀の上で二匹のカタツムリが相合うのです」と始めて、「うらやましいな、ああうらやましい。私は貝になりたい」と結ぶ悪矢の話などを。

授業は終始面白かった。私は級友と共に、たわいなく彼のベースにのせられて笑い入りながら、こう考えていた。

しかし、第一印象は次第にぐらついてくる。

身振り手振りを交え、時おり、目の底に茶目つ気をチラつかせ、彼は略々として喋った。

「脾臓は左にひとつある。ヒビヒビ」とか、「暑からず寒からず五月雨のしとしとと降る昼さがり、とある土塀の上で二匹のカタツムリが相合うのです」と始めて、「うらやましいな、ああうらやましい。私は貝になりたい」と結ぶ悪矢の話などを。

ひよつとしたらこつちの方向で、家では威厳のあった土族の祖父を傲っているのでは、と思うこともあった。

路上で偶然、一対一で出会ったことがある。父は学校からの帰途で、私は制服を普段着に若がえて、夕食の材料を買いに出たところだった。

「おかえり」と私は言った。いつもなら、ニコリとせせず「よっし」と重々しく頷く父である。それがこのとき、学校で見せるのと全く同じ笑顔をむけて「やあ」と明るい声で応じ、愛想よく会釈までしてくれたのである。

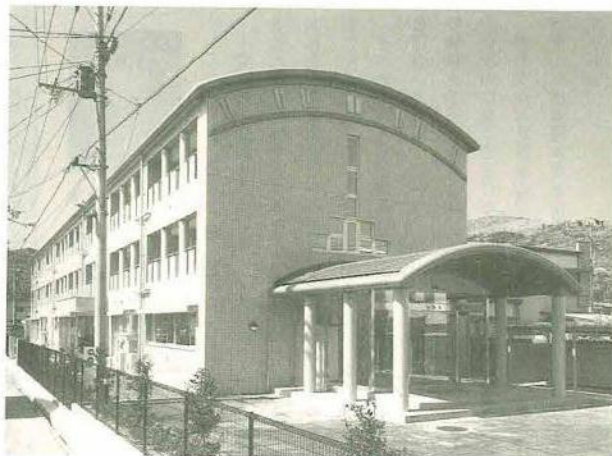
家から百メートルしか離れていなくても、まだ門の外だったから彼はオンカンなのであった。

父は早くから二重人格であることを自覚していたようである。あるときはライオンの如く恐ろしく、あるときはカンガルーのようにやさしい。だからライオンの「オン」とカンガルーの「カン」を取って「オンカン」である——と自分で付けたアダナを、勤務

ついに一度もそれ以外のアダナで呼ばれたことはなかった。

個室でエアコン付

土佐中・高「向陽寮」が完成



鉄筋3階建て。「向陽寮」の外観

土佐中・高の男子寮「向陽寮」が完成した。外観は赤茶色のレンガ調。モダンなアーチ型の屋根とあいまって、ホテル感覚のリッチな気分あふれる寮となっている。

寮には新学期から中・高生四十四人が入居した。全室六畳の個室、エアコン付という好条件。寮生たちの反応は「個室で勉強がしやすい」「規則が思ったほどうるさくない」「集団生活の大切さがわかる」など好評。

ただ育ち盛りの年齢だけに夕食のポリウムは今ひとつ物足りないらしく「おかずをもっとふやして」の声も。また冷蔵庫の設置を望む声も強い。クラブ活動をしている生徒からは「門限が早すぎて、

◇向陽寮メモ◇

▽所在地：高知市百石町二丁目
▽建物：鉄筋コンクリート3階建
▽金監の先生：岡部淳之助先生
（23回）▽一月の寮費：五万五千円
▽総工費：二億五千万円
▽収容人員：六〇人

食堂。掃除は夜やります。



練習後に友人とつきあうヒマがない（中3・サッカー部）などの意見も出ている。

戦火で焼失し昭和二十四年廃寮となった旧向陽寮を知るOBの一人は「当時は十二畳に四人ほどが相部屋でした。それと比べると隔世の感があります」と新旧向陽寮の完成を喜んでいる。

ゆたかなくらしのパートナー……

四国銀行

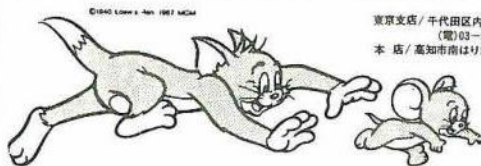
東京支店 / 牛代田区内神田 1-13-7
(電) 03-291-3411
本店 / 高知市南はりまや町 1-1-1

有利で便利な
期日指定定期みっば

●1年複利で高利回り / ●1年間の満期後は期日自由 /

ムリなく貯まる
自動積立定期ふゆみ

●1回ごとのお預け入れを「みっば」でお積み立て /



どうぞよろしく /
〈四銀〉の強力コンビです。

曾我部前校長先生の句集『吐雲抄』出版

昭和五十六年にご逝去された

曾我部清澄前校長先生（一回）の句集『吐雲抄』が、利子夫人の手で出版された。

筑前縣世帯

春の日をくらき御堂の仏達ふる里は人のこころと春の風病院の北窓越しに春の空

など、誠実なお人柄がしのばれる百余りの句が収録されている。

▼連絡先▶神奈川県平塚市浅間町3-16 チュリス平塚 402 曾我部 利子

出版レーダー

▽公文 俊平氏（二八回）

監訳『ハードランディング 作戦』講談社・定価一四〇〇円

▽尾池 和夫氏（三四回）

『インドネシアの旅—ジャワとバリの火山を訪ねて』産業図書・定価一、二〇〇円

▽合田佐和子氏（三四回）

『ナイルのほとりて』朝日新聞社・定価一、二〇〇円
▽塩田 潮氏（四〇回）
『実録竹下登』講談社・定価一、二〇〇円

『獅子奮迅—萩原吉太郎とその時代』ビッグ・エー・定価一、二〇〇円

●第14回筆山会ゴルフ・コンペ

5月28日、千葉・かずさCで北岡会長、宮地支部長をはじめ21名が参加して、時々雨の降る中を1.5Rで行われ、千原望氏が優勝した。

①千原 望	33回	155	G
②杉村武秀	30回	124	H
③宮川洋治	33回	141	N
④秋山邦雄	25回	131	
	13.5	27	
	117.5	114	
	113.5	107	

⑤浅井伴泰 30回 141
B G 杉村武秀 30回 22.5
124 118.5

〔その他の参加者〕

北岡龍海 5回・寺川博典 12回
宮地貫一 21回・野沢真次 25回

西内 一 30回・大町 玄 30回
鍋島高明 30回・大倉 健 30回
田所鴻一 30回・宗円尚孝 32回
上田敏郎 32回・岩崎たけし 32回
澤村良節 33回・藤原健男 33回

尾神俊彦 33回・中島 宏 38回
なお、次回は11月12日（土）に
茨城・グランドスラムCCCで
開催予定。参加希望者は事務局
まで（電話幹事：宮川洋治 33回）
5821778991

土佐高の思い出①

— 廃材から古釘を取って居られた大嶋校長 —

元土佐高教諭 吉田富士子

昭和二十四年四月から二六年三月まで土佐中・高校に在職して居りましたが、この度「筆山」に何か書くようにとのことで、約四十年昔のことを思い出してみることになりました。

ていた十年間のブランクはありましたが、覚悟を新にしてこの優秀な卵たちに挑戦することになりました。この一年生の他に中二、中三の三学年の国語の授業をすることになりました。

大嶋校長先生の時代です。中年の女の国語の先生を探して居られるとのこと、私は満洲からの引揚者でしたが、御目にかかってお話がつき、ご縁ができたわけでした。担任は一年D組、かわいらしい少年少女の一団でした。終戦まで教職を離れ、家事・育児を専門にし

ハイジ、キュリー夫人、その頃特に取り上げられた教養についてなど、また戦前に引きつづき漱石・鴎外の作品などが教科書にのっていました。この三学年が二八・二九・三〇回生に当たります。

現校長松浦先生をはじめ、小松先生、公文先生、岩井先生、鎮西先生、正岡先生、池

うと、「車は左人は右」と大声で歌って居られました。岩井先生の「スタンブ」もなつかしく思い出します。

田先生等。まだ皆さんお若くていらした時代で、旧い校舎の職員室で机を並べさせて頂いて居りました。

校舎改築事業以前のことで、窓ガラスもなく油紙が貼ってあり、冬はやはり寒かった。大嶋先生は校庭で廃材から古釘を抜き取って居られました。古釘を踏み抜いて板切れをつけ

母 校 だ よ り

盛大に松浦校長文部
大臣表彰祝賀会開く

松浦黥校長先生の文部大臣

教育者表彰受賞祝賀会が三月九日、高知市の高知第一ホテルで行われた。

祝賀会には西山利平・振興会会長、中島暁・同窓会会長はじめ県、教育関係者、同窓

知事の祝辞のほか、関係者が次々と祝辞を述べ、四〇年以

上わたる松浦先生の功労と受賞の栄誉をたたえた。

計 報

岡村熊長先生（おかむら・

復活に燃える土佐

かつて文武両道の模範ともいわれ、全力疾走のハツラツとしたプレーで球場を沸かせた土佐高校が低迷している。

甲子園出場春夏合わせて八回のうち準優勝二回を誇るが、昭和五十一年春以来十一年も甲子園から遠ざかっている。昨年の秋季、今年の春季と連続して初戦敗退。特に、春季大会

くまおき土佐中・高教諭）

が六月十七日午前四時三〇分、肺腫瘍のため高知医大病院で亡くなられた。五七歳。

土佐中野球部監督として、

四十四年に県中学野球選手権大会で十二年ぶりに優勝を

もたらすなど、中学野球の指導者として活躍された。ご冥福をお祈り申しあげます。

掲 示 板

●同期会をしました

▽三〇回Oホーム 5月21日、

NK高輪クラブ

▽三〇回Kホーム 5月21日、

土佐

▽三三回 6月11日、昼の部

では、わずか9人きりぎりの部員で試合に臨むという非常事態で、県高校野球界をリードしてきた各門校も伝説と化そうとしている。

その土佐に、今春6年ぶりに2ケタ、13人の新入部員が加わった。この中には、中学時代評価が高かった好投手や即戦力として期待される捕手、内野手もいて、28日目を迎える龍尾監督もチーム再建に手応えを感じて

グランドスラムCC タの

部 グランドプラザ

▽四一回 5月21日、土佐へ来てみよう

▽四二回 7月4日、赤坂・

ねぼけ

●公演予定

▽北村純一郎氏（29回）出演

「世阿弥」11月5・20日、銀座セゾン劇場。問合せ 劇団

「昂」03-941-5451

▽竹邑類氏（35回）演出・振付

「トム・ソーヤー」7月10日

8月30日、全国巡演。問合せ

せ 光蔵社 03-943-7531

▽西友ミュージカル 赤い

つ 8月2・30日、全国巡演。

問合せ 西友文化事業部 03-

いる。昨年、創部40周年記念セレモニーの席で、OB達からの激励を受けて、「再び甲子園の土を踏みます」と応えたいきさつもあって、関係者も復活に向けて期するものがある。野球部の「右文寮」も入寮者が増えて賑かになった。今年が復活元年になるか。

（月刊高校野球マガジン6月号
ベースボール・マガジン社より転載）

989-5289

同窓会本部だより

●同窓会本部 高知総会 8月13日（土）総会 4時、懇親会 6時、新阪急ホテル。

●来年の関東支部新年総会 1月21日（土）、東條会館。

講師 公文俊平氏（28回）

●六三年前半活動報告

▽1月30日 新年総会（東條会館）▽2月12日 新年総会

反省・慰労会（NK高輪クラブ）▽3月25日 支部長・役員懇談会（はりやま）▽4月18

日 宮地貫一支部長、土佐高の理事に就任 5月6日 筆

山編集会議（パレスホテル）

●会費納入状況

六三年度の支部年間会費の納入者は五月末現在で四六二名となりました。ご協力あり

がとうございます。未納の方は二〇〇〇円を左記へ。

振替 東京 7-142816

土佐中・高同窓会関東支部

部事務局

編集後記

◇待望の向陽寮が完成した。宮地支部長も新たに理事に就任され、中島・岡村氏と強力

同窓生トリオが理事会に加わった。野球部にも復活の兆し

が見られるようだ。最近の試合では明德を破ったと聞く。

頑張った学校全体が上昇気流に乗ってほしい。（A）

◇新年総会の出欠の返事に、三十歳にもなつて独身なので

恥ずかしい、結婚したら出席します、という男性からの便

り。独身だからこそ「探しに」

おいでと言えらる同窓会にした

い。

仲間の輪を広げよう。（I）

◇三五回生の竹邑類氏に公演

予定をきくために電話。やはり三五回生でフラメンコの第

一人者、山崎泰氏と交際があるかとたずねると、「彼はよく

知っていますけど、土佐の同

級生なの？ 高知出身なのは

互いに知っていたけど」と絶

句。世の中広い？ 狭い？（K）